

2019年9月15日

ハイキング散策の会の皆様

10月のハイキングのお誘い

やっと涼しくなり秋の行楽シーズンを迎えました。

10月のハイキングは東松山の吉見百穴、武蔵松山城跡、岩室観音堂、そして750万本のコスモスが咲き誇る吉見町下細谷耕地を訪れる計画です。

吉見百穴は約1400年前の古墳時代後期の横穴墓群の遺跡で、岩山の斜面に219基もの穴が開いており穴内の台座に棺桶を安置したと言われ、このような遺跡では日本一の規模で1923年に国の遺跡に指定されております。また、岩山の下方にはヒカゲゴケが自生しており国の天然記念物になっています。

また、岩山の地下には太平洋戦争中に中島飛行機が地下軍需工場を建設するため直径3メートルのトンネルが碁盤の目状に掘られており、そばを流れる市野川が蛇行して流れているため軍需工場の前面に用地を確保するため流路を西側へ移動する河川改修も行われました。

武蔵松山城跡は比企丘陵の先端に築かれた山城で標高60メートルの北武蔵屈指の堅城とされ、土塁や空堀は良好状態で残されており、平成20年に比企城館跡群の一つとして国の史跡に指定されています。武州と上州を結ぶ戦略上の要地として絶えず争奪戦が繰り返され、武田信玄、上杉謙信、前田利家らも攻城に参加した記録が残されています。

岩室観音堂は810～824年に建立されたと言われ1200年以上の歴史があり、弘法大師空海が岩をくり抜いて高さ36.4センチの観音像を彫刻して岩窟に納め名称を岩室山と号したと言われています。室町時代に扇谷上杉の武将上田氏が建てた武蔵松山城の城主が代々信仰護持したが秀吉の関東出陣の時の松山城落城と同時にすべてが焼失し、現在のお堂は江戸時代寛文年間（1661～1673）に再建されたもので比企西国三十三か所の三番目の札所となっています。京都の清水寺の観音堂と同様の“懸造り様式”という江戸時代では珍しい建築方法によるもので吉見町指定の文化財になっています。

下細谷耕地のコスモス畑は休耕地を利用した広大な敷地7.7ヘクタールに750万本のコスモスが植栽されており、今年は19回目のコスモス祭りが26日に行われます。さわやかな秋の一日、皆様のご参加をお待ちしています。

記

1. 実施日： 10月26日(土) 雨天順延 10月27日(日)
2. 集合時間・場所： 午前8時 東武東上線池袋駅 南改札口(地上階)
(8:10池袋発急行小川町行に乗車予定)
3. 予定コース： 池袋～東松山(徒歩25分)～吉見百穴～岩室観音堂～
武蔵松山城跡(バス)～下細谷耕地コスモス畑(バス)～
東松山～池袋
(高低差なく一般向き、歩程約3時間半)
4. 持ち物： お弁当、飲み物、敷物、雨具ほか

以上

参加をご希望の方は10月24日までに世話人あて返信ください。

ハイキング散策の会

渡邊 美穂子 (090-4093-3665)

田熊 利彰 (090-7238-0419)